

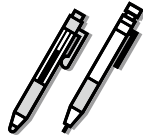


# 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

令和7年度

## 庄原市小・中学校 一斉学力調査から

[ 令和8年1月9日～16日実施 ]



市教育委員会は、市内小・中学校の児童生徒を対象に、本年1月、「庄原市小・中学校一斉学力調査」を行いました。本調査は、児童生徒一人一人に「基礎・基本の力」や「活用する力」が定着しているかを全国的な視野で把握し、各学校での授業改善や学習指導の充実を図ることを目的としています。

実施教科は次のとおりです。

- 📖 小学1・2年生…国語・算数
- 📖 小学3～5年生…国語・社会・算数・理科
- 📖 小学6年生…国語・社会・算数・理科・英語
- 📖 中学1・2年生…国語・社会・数学・理科・英語

### 学力調査を受けて

小学校では、国語、算数、理科、英語の教科においては、全ての学年で平均正答率が全国平均を上回っています。特に第1学年の算数・国語、第5学年の算数、理科において、約10ポイント以上全国平均を上回っており、授業改善の成果が見られます。

中学校では、第1学年の社会、理科においては、全国平均を下回ったものの、その他の学年・教科においては、平均正答率が全国平均正答率を上回っています。特に、第2学年の社会・理科の平均正答率は、全国平均を約8ポイント以上上回っています。

一方、小学校第4学年・第5学年における社会、中学校第1学年の社会・理科では、全国平均正答率を下回っており、さらなる授業改善や家庭学習の充実など、基礎学力を確実に定着させるための取り組みが必要です。

これからも各学校では、児童生徒一人一人の結果を全教職員で共有し、児童生徒のさらなる学力の向上に向けて改善計画を立てるとともに、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、交流や議論を通して思考を深める授業内容の工夫・改善に取り組んでいきます。

### 各教科の平均正答率

